

2019.11.20

全国会長会議 会長挨拶

全国会長会議の開催に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃より全建の事業活動に深いご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、10月3日の関東甲信越ブロックから、全国9ブロックにおいて開催して参りました地域懇談会並びにブロック会議は、10月30日の東海ブロックを最後に、無事終了させていただくことができました。台風19号等により各所災害へ対応されている中での開催となり、会議の準備・運営に当たりまして、各ブロックの皆様方には、例年以上にご苦勞をいただいたことと存じます。大変お世話になりましたこと、ここで、改めて御礼を申し上げる次第でございます。

台風19号による豪雨災害が発生してから1か月が経過し、氾濫などによる浸水範囲は去年の「西日本豪雨」を超えているほか、土砂災害も1つの台風によるものとしては最も多くなるなど、記録的な豪雨災害になっています。

また、地球温暖化など今後の気候変動によって、今回のような豪雨災害が頻発し、広域かつ激甚化しており、地域建設業の「地域の守り手」としての社会的使命は益々重要性を増しております。その

使命を果たしていくために、地域建設業の体制確保や処遇改善に、全力で取り組んで参る所存でありますのでご理解御協力をお願い申し上げます。

さて、今回の地域懇談会では、全建として「地域の防災と活力を担う地域建設業を目指して」をテーマに掲げ、各ブロックにおいて、地域の守り手としての社会的使命や担い手の確保育成ともに、その前提となる経営の安定化などの議論を各ブロックで展開してまいりました。

皆様からいただいた、ご意見・ご要望につきましては、これを「国土強靱化・社会資本整備を着実に推進し、地域建設業がその社会的使命をこれからも果たしていくために」として取り纏め、先ほど開催されました理事会において、ご承認をいただきました。

この後、私と副会長で、赤羽国土交通大臣や自民党幹部の方々を訪問し、全国47都道府県建設業協会の総意として要望活動を行うこととしております。

引き続き、皆様方からいただきました声が、国政の場や建設行政に的確に反映されますように、全力で尽くして参ります。皆様方におかれましても、それぞれのお立場から関係各所に機会を捉え積極的に声を届けていただきますよう、改めてお願いを申し上げます。

結びになりますが、本日ご臨席の皆様方のご健勝と、各都道府県協会並びに会員企業の皆様の益々のご隆盛・ご発展を祈念致しまして、挨拶とさせていただきます。